



校報

水糸者

No. 1239

元年度・第98号

友の励まして、ゴールできたマラソン大会

…多くの温かいご声援、ありがとうございました…

パート3

強風の中行われた、今年の校内マラソン大会。子ども達はやり切った自信と誇りを胸に、学校生活を送っています。マラソン大会で頑張った子ども達の感想文（要旨）を紹介します。



中休みのマラソン練習は「歩かないで走る」事をめあてに頑張ってきました。遅れても最後まで頑張りました。友達も応援してくれてうれしかったです。本番では諦めないで最後までしっかりと走りました。お母さんやお母さんの友達のお母さんからの応援があったからだと思います。結果は納得いかないものですが、最後までしっかりと走り切りました。悔しい気持ちがいっぱい泣いてしまいました。あと少しの所で歩いてしまった事が、心にずっと残りました。来年は絶対に歩かないで走りたいです。

（中学年・女兒）

マラソン大会の練習が始まった途端、僕はマラソン大会の事が不安になりました。それは、3年生の時足を痛めてしまったからです。ですから、練習が始まった日は頭が真っ白になりました。練習中、3年生の時に走った時より、周数が大幅に伸びてので、くじけそうになった時もあったけど、みんなと協力してやって来れました。当日は、3年生の時の自分に勝とうと自信が湧いて来ました。僕は最初から全力疾走。そして練習を重ねたおかげで、自分のペースが最後まで落ちませんでした。とてもうれしかったです。そして、走り終わった時、3年生の自分に勝ったと思いました。来年は走る距離が増えますが、頑張りたいです。（中学年・男児）



今日のマラソン大会では、スタートから本気で走りました。だけど、途中で走るペースが落ちてきたので、たくさんの人に追い越されました。校庭に着いた時「もうだめだ」と思ったら、お母さんたちに応援されて、やっと本気が出ました。そこからどんどんペースを上げて行ってやっとゴールに着きました。10位にはなれなくて悔しかったが、来年は10位に入りたいと思いました。（中学年・男子）

翔斗さんが今回も教えてくれた事



明るく頑張り屋さんの翔斗さんはいつも友達に囲まれて、学校生活を送っています。

普段、車いすで学校生活を送っている4年生の南翔斗さんは、今年の校内マラソン大会でも、しっかりとゴールすることができました。

翔斗さんは、昨年度と同じ距離のコースを車いすと歩行器でゴールを目指しました。昨年度は8分21秒かかったのですが、今年度は5分49秒にまで縮めました。何と、1年間で2分32秒もの短縮となりました！

それは、普段担任と繰り返して来た学校での機能訓練と、週2回実施している、町温水プールでの機能訓練の成果でもあります。



スタート直前の翔斗さん



車いすで周回コースを頑張る翔斗さん



車いすから歩行器に変え、ゴールを目指す翔斗さん



〔翔斗さんの作文（要旨）〕

校内マラソンの練習の時は、80%は達成できたと思います。それは、練習中にタイムがすぐ下がった時がなかったからです。今日の本番ではきちんと走り切ってゴールできたのでうれしかったです。練習の時より22秒も速くなってうれしかったです。来年は距離を伸ばしても、上位でゴールできたらうれしいです。タイムもできるだけ速くしたいです。

私は、始業式や全校朝会などで「諦めないでやり遂げる大切さ」や「好きなことをとことんやる大切さ」、「苦手なこともごまかさないでやり遂げる大切さ」などについて、繰り返し話してきました。今回の翔斗さんの姿は、その事を全て体現しているものでした。翔斗さんの今回の力走は、『始めないと、踏み出さないと何も成長がない事』や『目標や夢を持ち続けないと成長がない事』、『限界は自分が勝手に決めている事』など、より良くたくましく生きていくために必要な、かけがえのない大きなことを種小っ子に教え、気づかせてくれたマラソン大会での力走の姿でした。

そのような翔斗さんの姿は全校の手本となるため、後日行う「校内マラソン大会表彰式」では『特別賞』を授与し、讃えたいと考えています。

「事故のない充実した連休に」

今週、来週と本校の週末は4連休と

3連休となります。秋の紅葉のシーズンでもあり、行楽地へ向かう車などで交通量の大幅な増加も予想されますので、安全には一層の注意が必要です。また、自転車による事故やけがも心配です。ご家庭でも安全な歩行や自転車の乗り方などについては、繰り返し、繰り返しお話してください。

なお、急に冷え込んで来たため、体調不良を訴える子どもが急増しています。体調管理についてもよろしく願います。